幼兒教育

第十九卷　第二號
大正八年二月一日發行

目次

米國に於ける幼稚園可否論……岸邊福雄
小兒の服裝に就て……入澤常子
土川先生に呈するの書……竹村一
冬期に起る小兒の病氣……青木醇一
米國加州幼稚園に於ける自由選擇保有の實驗……紹介子
表情遊戲……土川五郎
二月の園藝……有川ひさえ
二十四孝の中より……山岸德平
新作お伽話　羊の毛ごろも……望月くに
會報……
大戰の開始、經過、終局……齋藤清太郎

日本幼稚園協會

會告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と御同一になし下され度く、假令ば初め幼稚園名にて御入會、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき樣必ず願上候整理上甚だ煩雜致し候につき右特に御注意願候

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確實に御納付下され度向後萬一御不納久しきに亘り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致候間左樣御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一報煩し度候

本誌定價

一冊　郵税共金拾六錢　六冊前金郵税共九拾錢
拾二冊同金壹圓八拾錢　郵券代用一割增

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。（振替口座東京一七二六六番）

大正八年一月廿八日印刷納本
大正八年二月一日發行

編輯兼發行者　東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四　倉橋惣三

印刷者　東京市本所區番場町四番地　守綱功

印刷所　東京市本所區番場町四番地　凸版印刷株式會社本所分工場

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
發行所　日本幼稚園協會

二月常會

一、二月八日(第二土曜日)午後一時半より

一、東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て

一、講演

斯く育て度しと思ふこと　文學士　倉橋惣三君

おもちや繪の話(展覽)　文學士　櫻田保之助君

○來聽隨意。多數諸君の御來會を願候

二月

日本幼稚園協會

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

コドモ

編輯顧問 高嶋平三郎先生

幼年雜誌

良友

本誌はコドモの兄樣姉樣に當り、小學生の讀物として最も適當な雜誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

發行所 東京市小石川區林町五十七番地 コドモ社 電話 小石川 六一二九 一八二

幼兒教育　第十九卷第二號　大正八年二月一日發行

米國に於ける幼稚園可否論

東洋幼稚園長　岸邊福雄

幼稚園が創設せられてから四十餘年に達するが、今日にて其數一千内外である。それで子供を不自然に陷らしむるとか、最初の成績は良好だが、終末に至ると不良だなどと冷評する人が時々あるが、さりとて幼兒教育の爲に熱血を注いで呉れる學者のないのは誠に殘念に思ふ。

○バドラ博士の四問題

茲に紐育コロンビア大學總長バドラ博士が、幼稚園教育の利害について解決の材料にとて、實際家に發した四つの問題を左に擧げる。

一、小學一年生を幾年間教へしか。

○研究して呉れるといふ學者が欲しい

米國に於ける幼稚園教育は、實際に眞面目に研究されて居る。シカゴ大學にも幼稚園が附屬してあり、紐育のコロンビヤ大學にも亦幼稚園が附屬してあると云ふ調子で、それ〴〵專門の學者が興味を以て熱心に研究して居る。それゆゑに、幼兒教育が改良進歩されると共に、幼稚園の數が殊に近年は一年に數百位宛增加して、四十五年前に僅に四十二園であつたのが、千九百十五年卽三年前に、已に九千四百八十六に達して居る。我國では

二、幼稚園を經て入學せし一年生が、全級の幾割ありしか。

三、幼稚園より入學せし一年生に對する感想如何。

四、幼稚園教育の效果を認めし要點は何處か。

以上の四個の問題に對して、それ〴〵眞面目に回答を與へた小學教師の報告を次に掲げる。

一年二月間一年生を受持つた教師

自分が受持つた一年生は、全級の五十パーセントは幼稚園を經て入學して居た。其兒童達は、教師の命令に早速服從しない傾向がある。尙手技中に雜談をする癖がある。併し他の兒童よりも、何事についても了解する事が早いが、其の作品については、他の兒童と左程優れて居るやうにも見えない。

二年間一年生を受持つた教師

（甲）

自分の受持つた一年生中には、幼稚園を經た兒童が二十八パーセントあつた。そして、著しく目に映じたのは、觀察力の精密なる事であつた。尙、圖繪、粘土細工の如き手技が巧妙であるのみならず、繁雜なる仕事を整理するに機敏である。唯だ中には生徒間に內訌の種を蒔くやうなこともあり又、作品を互に見合つて品評し過ぎるやうな事も見た。要するに、他の兒童が幼稚園教育を受けたものよりも優れたとも感じないが、幼稚園教育を受けた兒童が、新思想を受ける場合に、他の兒童より勝れたとも思へなかつた。

（乙）

私が受持つた初年は幼稚園に通つた兒童が百分の七十二であつたが、二年目には百分の七十四あつた。幼稚園から來た兒童は、觀察する事が敏捷で且つ正確である。其思想は組織的である爲に、表示する場合に於て口頭でも筆頭でも又手工でも矢

張り組織的である。倫理學の立場から見れば、幼稚園より來た兒童は、他の兒童よりも訓練されて優秀である。尙幼兒の人格を認めて名譽心を適度に刺激して、絶えず喜悅の感に充滿せしめられて居る。慥に神が彼を成さんと欲するものに近付いて居る感がする。

（丙）

尙二年餘り敎へた敎師の報告によると、去年は全部幼稚園を經て來たが、本年は僅々百分の五のみある級を受持つた。

幼稚園敎育を受けたものは、勤勉で趣味に富んで居る。尙觀察力が强い。そして熱心で想像力も豐富であり、禮儀も正しい。且つ課業については數學、國語、朗讀方、圖畫、手工が大なる素養を有して居る爲に、進步が迅速で、仕上げが綺麗である。

四年間一年を受持つた敎師

最初一年二年は百分の五十は幼稚園を經た兒童であつたが、後の三年目四年目は百分の十五であつた。幼稚園敎育を受けた兒童は、自發活動に富んで居て總て創作的である。又學校生活卽ち群衆生活と慣れて居る。總じて物事を考へる事が自覺せしめられ、尙且つ慣れて居る。他の兒童が學校生活に慣れるまでには、幼稚園敎育を受けた兒童は已に學習の緒に付く。其學習を始めると、已に仕事の仕方を覺えて居て、手の用ゐ方、器具の取扱ひ方などを練習して居る爲に、何仕事に向つても好良なる基礎を有して居て、實に時間の半分を以て仕事を正確に完了し得る。

五年間一年生を受持つた敎師

毎年幼稚園を經た兒童が百分の八十あつた。他の兒童は惜しい事には、學校に來るまでに時間を空費して居る。然るに、幼稚園敎育を受けた兒童は、學校敎育を受ける前時間を有效に使用した

のである。其習慣の爲に、何か仕事をすることを熱望して居る。又、教師より要求せらるゝ事に向つて仕遂げ得ると云ふ自信を以て始め、實際に困難に打ち勝つ丈けの忍耐力がある。其仕事の仕方は清潔で優美できちんと整頓して居る。注意力は強く、創作力は大に發達して居ると同時に、遊戯、談話に就きて世の中の知識を多量に有して居て、新に授けらるゝ仕事殊に讀方、圖繪、朗讀等に非常に助けとなる。尙又、數の觀念が明瞭であると共に、文字の書き方なども記憶が早く、且つ美を愛し美を鑑賞する力が大である。總じて一年生の時代は、時間の點に於て優逸で成績も亦優良である。

六年間一年生を受持つた教師

(甲)

年々幼稚園を經た兒童が百分の三十あつた。幼稚園教育を受けた兒童は、仕事に趣味を持つ、それ故に勇んで着手する。他の兒童は如何になすべきかを知らざるを以て大に躊躇する。又幼稚園教育を受けた兒童は、鉛筆の使用法を熟知する爲に、短時間の稽古にて書く事を覺える。一年生の間に著しき進歩を示して、學年の末頃には、もはや二年生の仕事をもなすに至つた。自分は中學校以上の學科の進歩をも調査するに趣味を有して居た處から、絶えず幼稚園出身の兒童の成績を注意して居る結果、中學校以上の學績が概して優良あるのみならず、一級飛びに進級したのも見た位である。

(乙)

年々三十五パーセント内外の幼稚園教育を受けた兒童の學級を受持つた。他の兒童に比較すると感覺が鋭敏で、想像力、記憶力、思考力等が著しく發達して居る。之が爲に、表情力も豐にて快活なる氣分を教室にて發露して、無雅氣で可愛らしい。又人に對して助力を與ふると云ふ友情に富ん

で居る。小學にての進歩は、多年の訓練の爲に、他の兒童よりも遙に著しく、手技の作品も亦上品に出來る。

十五年間一年生を受持つた教師

全級の半數が幼稚園を經た兒童の學級を受持つて來た。そして十五年間と云ふ長い間の經驗によると、幼稚園教育を受けた兒童は、手の筋肉が非常に訓練されて居る爲に、文字を書いたり、紙を切つたり、折つたりする手藝が巧妙である。此の手能の訓練が、やがて智能の發達を助けて、毎に新らしき思想を得ん事に注意して居る狀が見える。又、色彩、形體等の觀察力が訓練されて居る點より、文字の形、言葉の形を容易に了解して正確に迅速に記憶する。又、耳の練習を重ねて居る爲に、教師の命令が低聲にても聞きとり得て、敏速に其指揮命令通りに服從する。

數學に於ても他の兒童よりも利益の多い事を認める。萬事了解する事と、思考する事と、鑑識力とが早くて正確だ。此點は幼稚園教育を受けない兒童よりも著しい相異を認める。要するに幼稚園教育を受けた兒童は、知識の量が多いと云ふよりも質が善く、尙散漫に流れたる輕薄なるものでなくして、內容が豐富にして充實して居る。

三十二年間一年生を受持つた教師

此の長い年數の間毎年一年生のみ受持つた。其間、或年は幼稚園を經て入學した兒童が百分の四十の事もあり、或は六十卽ち半數以上の事もあつた。平均全級の半數であつたが、他の兒童に比較すると、觀察力が訓練され、手能が訓練され、數、形、色、音樂等に對する知識と趣味が正確に進步して居るのみならず、更に克己心が教訓されて居る爲に、注意力を持續する時間が長い。それ故に、一年生の進步は著しく優良の成績を示す。

○御互樣に研究

以上通續すると、いづれも幼稚園教授を有效と認めて居る。元より此の報告書は、幼稚園教育を有害と論評した分を、バドラ博士が打放つて、幼稚園贊成論のみを編輯したのでない事は明瞭である。して見ると、米國に於ては、幼稚園教育を或は無用だとか、或は有害だと論ずる人はないやうである。それのみか、寧ろ學校系統の中に入れるが善いと論じもし研究もして、終に其說を採用して居るセントルイス地方さへある。然るに日本では學者達の意見よりも、寧ろ兒童教育の實際家から論難されて居るのは如何なる譯か分らない。職務上幼兒教育に從事して居るものは、一層奮勵努力して研究に研究を重ね、改良に改良を加へて、米國の幼稚園教育が小學校の教員より、嘆賞されるまでに到達したいものである。

○机邊より（一）

――ジヤン、クリストフの中から――

……さて、彼（ジヤン、クリストフ）は兩手で兩足を握つて、地の上に坐つてゐる。彼は靴ふきを舟になし、瓦の床を河にして居る。毛氈の上に上つたものは溺れたもの。けれ共、誰も這麼事に氣をつけないで室に這入つて來るから、彼は苛々する。遂には、お母さんの裾をとらへつて、「母ちやん、こゝ、河よ、橋をお渡り。」と云ふ。橋とは煉瓦の間の穴の一列を云ふのだ。お母さんは耳も傾けずに行つて仕舞ふ、彼は、戲曲家が筆をとつて居る時、人がドチヤガチヤ云ふのを怒る樣に叱り出した。

暫くすると、最早、そんな事は考へない、床は、早、海ではない。彼は其の上に手足をひろげて寢てゐる、瓦に頭をおさへつけ、拇指を喰へ、ヨダレを垂らしながら、自作の歌をウウウーを歌つて居る、そして、瓦の間に寢そべつて何か考へて居る、並んだ瓦は顏の樣、小さな穴がだん〳〵大きくなつて遂には谷になり、其の邊が山になる、一匹の百足が、はつて居る、それが象の樣に大きい。どんな危險な事があつても、子供は平氣なものである。――（66頁へ）

小兒の服裝に就て

醫學博士夫人　入澤常子

○長所は洋服に

小兒の衣服に就きましては、男兒の方は大勢育てましたから考へもございますが、女兒はたゞ一人で、それもまだ幼うございますから此の方の經驗は至つて淺いのでございます。然しながら、とにかく男女共子供にはすべての點から洋服が勝つて居ると存ぜられます。改良服の工夫もいろ〳〵ございますが、改良の要點は袖がきつちり致すことと、裾が自由に開くことにありますから、やはり洋服型となるのでございます。それ故、なまなかの工夫よりは在來の洋服を用ひて居るわけでございます。

男兒に日本服を着せますと丈は膝から下二寸位にして置きましても、やはりズボンをきつちり穿いた輕快さには及びません。どこか運動に窮屈なところがございます。女兒ならば袴をつけませばともかく、着丈をさう短くしては恰好が惡くて困ります。それで日本服を着せますと子供は自然靜かな遊びを致します。日本服は赤や靑や色どりの美しい模樣があるために、一時は喜びますが、二三日も着つゞけてますと厭がつて袖が重いから羽根がつけないなどと申します。

○利用の自由なこと

第一に洋服のよい點は利用がよくきくことでございます。洋服は利用できないと仰有る方がよくありますが、頭腦さへ働らかせれば日本服以上に

自由で便利でございます。私の幼い頃の洋服を今でも子供に着せられます。何十年昔の型でも作り直して足りない所にはずん〳〵違つた切れを用ひます。眼ざわりになればレースを被ふとかいふ工夫が出來ます。袖が短かければ袖先を三寸位足すのも容易いことですし、胸はあけてしまつて下着を見せるやうにしてもよいのでございます。袖先だけ痛んだやうな場合には、洋服地は重寶なことにいつでも同じ地質がありますから、袖だけとりかへることも出來ます。肩の方と色の變りなどがあつてもエプロンをかければ差支へございません。斯樣に致しますと、小さい洋服でも六七才迄充分利用が出來ます。それが日本服でございますと、第一違つた切れの綴合せが出來かねる次第でございます。

○大人物を作り變へて

大戰以來、毛織物は殊に高價になりましたから若い頃のコート等を用ひて作ります。私の實家などでは母の身につけました洋服、明治の初年頃用ひましたのを、いま迄そのまゝ持ち傳へましても無益なことでございますから、此の頃とり出しまして特別なものは除き、大方は作り直して子供の新らしい洋服に致しました、西洋風では小さい子供程じみに致しますから、茶や紺、黑などがそのまま用ひられます。大して手置きもしてないやうでございましたが、蓋のよく出來る長持に納めてましたのが、蟲もつかないでありました。地質さへ害なはれずに居りませばお父さんのお下りでも間にあひます。

○洋服は暖かいこと

日本服よりも暖かなことは確かでございます。そして身體をよく包んであること故、割合に薄着ですみます。たゞ注意すべきことは、洋服と日本服とをあれこれ交へて着ますと風をひきます。日

本服の襟元はがぶつて居り、裾も長うございますが、一體にふわ〳〵として風がはいります。洋服の襟の廻りは水兵服など殊に頸部を廣く現はして足の方も靴下を穿いても裾短かでありますが、着物がぴつたり體について居ります所から暖かなのでございます。それを學校へ通ふとか、外出とかの度に着更へますと身體各部の包まれ方が違ふため溫度が急に變りますため、感冒にかゝるのでございます。それ故兩方を交ぜて用ひませんで一方に定めた方がよいのでございます。

○洋服の調製方

出來合品は布を充分に使つてありませんから、忽ち手をかけねば着られなくなります。それ故宅では布をたつぷり使つて、三年間位は伸ばし伸ばし用ひられる樣に致して置きます。男兒はズボン二着に上着一の割合に作つて、ズボンの腰に初めから綴ぎを、それも表からあてゝ置きます。宅では座りませんから、膝の方はあまり痛みません。女兒は宅では三歳の時着せ初めに二組（洗ひがへの爲）作り、翌年から一枚づつ作つて參りました。地質はカシミヤ弱うございますが、それでも二年は保ちます。ラシヤや、ビロードならば切れることは殆んとございません。地質によつて早く痛むことがあつても前に申したやうにその部分だけ換へますから、厭きる程用ひられます。夏物は白いものが洗濯がきいてよろしうございます。洋服はさつぱりした好みがよいので、日本流に考へますと綺麗な柄合を用ひたくなりますが、見よいものではございません。格子縞、辨慶等も小さい子供程細かい方がよく、大きい縞は下品になります。洋服を用ひるとすれば、何れの家庭でもせめて下着は手製にしたいものです。手縫でも縫目を、も一度縫ひ返せば差支へございません。

○和服に加へる工夫

和服もまだ〳〵用ひられるものとしますと、男兒の羽織などは裏表兩用にして置くべきものと思ひます。重くなると申しても、丈の半分以上も返しがある事を思へば大したことはない筈です。表裏別々の布を使つて、裾で合せてもようございます。そして肩すべりだけ、少し横切れでもつけて置きます。裏返して着る時に汚れのまゝでは用ひられませんから、濡れ手拭を當てゝ、熱いアイロンをかけて汚れをとつて用ひます。着物も斯うして用ひられます。女兒にはメリンスの無地を裏に使つて袖を挾んで縫ひますと、裏がへした時の赤や紫や、蒲黄の無地が綺麗なものでございます。

○慣れさへすれば

洋服を着せ慣れますと、日本服が手のかゝることをお感じにならぬ方はございますまいと存じます。日本服で子供を自由に遊ばせて置きますと、一月は着續けられません。着物を汚さない程の子供は弱い子供でございます。

洋服を着て育ちました子供は體が眞直に、胸が張つて、姿勢が正しくなります。その代り日本服を着せますと帶などが落ちつかないと申して苦心する方もございますが、これも考へやうであらうと存じます。（文責記者）

土川先生に呈するの書

在大阪　竹村一

●土川先生、

私は先生が一度律動遊戯をみに來よといふ御案内をうけたのは昨年の夏頃であつたと憶えてゐます。

その時は丁度公務多忙にて其機を得ずそのまゝに過ぎてゐました、處が本年の七月西區有志の保姆諸姉發起で二回目の講習會があつた時に私は初めて親しく先生の遊戯を拜見いたしました、そして私は此秋再神戸へ先生の實際的教授を拜見にまゐりました。

●土川先生、

私が先生に對して何とかと批評を試みるといふ事は實に無禮千萬な事と思召すかは存じませぬが、私はたゞ感想として一言二言の發言を與へて下さるのを御許し下さい、否かうした手紙を差上るのを許して下さい。

第一集では私は何となしに直覺的にいやな西洋臭いダンスの變てこなものだなといふ感じがいたしました、第二集になつて私の心にしつとりとした然も自然的な更に日本化した處のいくらかを發見する事が出來ました、先生が在來の遊戯の缺陷に着眼されて更にダンスの型に全然入りもせないで一種の遊戯を創案さるゝまでの經路が私はよく唄はれました。

食物の消化——吸收——營養（エイヨウ）となるまでには何でも相當の時日と努力とを要します。

律動遊戯も今日では全然土川先生の心より湧く自然の詩潮がリズムになつた樣に思ふ樣になり

ました。

●土川先生、

私は先生の遊戯といふ一つの尊敬すべき教育の一方法、更に言ひ換ふるならば眞面目なる生活の一面である。遊戯に對する態度の何時の講習會の時にでも變らぬ眞面目さを體得してゐなさる事に對して私は實に敬服の外は御座りません。之に反して往々習ふ方の人々の中に稍眞面目さを缺いでゐるのが見られました、從つてリズムといふ事の觀念を全然沒却した人がある爲に時に全體を破壞する事がある樣に思はれました。子供に教ふる時も同樣でリズムといふ事を全然腦中におかないでやつてゐる保姆には此遊戯は全く零である樣に思ひます、如何で御座りませうか。

●土川先生、

私は更にかういふ事を考へました、此律動遊戯の前に少くとも四肢の運動練習及跳躍位は準備演習として行つて於いてはどうかと思ひました。

一體人間の筋肉といふものは一定の練習を經た後はその運動が容易くなり且力がはひるものであります。

例へばテニスを一度もした事のない人がラッケットを握つてボールを打つた處で力がはいらぬは勿論の事手が思ふ樣に動かないものです。

それ故は私は律動遊戯といふ事の前に準備的身體の練習を心要だと思ひました。

●土川先生、

私は多くの保姆諸姉なり小學校の女教員諸君なりの中に遊戯に於て運動する其肢又は軀幹なりの部分的の運動作用に付ての智識が或は稍不足してゐはしまいかと考へられた點が多々ありました。

例へば水平に手を左右にひろげてこそ目的の部位の筋肉が目的の樣に動くのであるのにかゝは

らず、ずつと水平以下稍下垂しかけた態度で左右に上肢をひろげた處でそれは目的の筋肉は少しも運動してゐない事が往々あると思ひます。然し之は一定のリズムに合して運動を連續してゐる時に殊更に角張つた體操の樣に行ふのは全くリズムに合はなくなる爲に、私は此基本的運動とそれに伴ふ筋肉の運動なり生理的見解なりを充分體得さして然る後に自然にリズムに合して運動を行ふた時に曲線的に行はるゝ樣な具合にはゆかないものでせうかと考へられました。

●土川先生、

私は在來の日本に於ける體操程無興味のものはないと思ひます、競技といふ興味ある運動を忘れて例へば瑞典式體操でも全く一時間つゞけ樣にやらされた時には、私は實に兒童は半死の狀態になりはしまいかと思はれます。

多くの人は在來の體操程無興味の面白くないものはないと云つてゐる、殊に體操專門家でも時時此言を洩らしてゐるのを耳にします。

興味なしの事をどうして兒童が自ら好んでやるでせう、精神的方面の敎育に興味が緊要であつて、身體的敎育にどうして興味が必要ないという事があるでせうか。

興味は强制的に起す事は出來ないでせう、興味は兒童自身の心より湧く時に力ありよき效果を生むものでありませう。

この意味に於て私は律動遊戯は小學校の兒童にも充分應用してよき運動であると思ひました。

身體の多くの部分の筋肉がよく運動し且上體のみとか、下體のみとかに偏せない點は大にうれしく思ひました、只關節とか骨端の充分に發達してゐない幼兒に向つて行ふ場合にはよく細心の注意を以て律動遊戯集一二の中より二三は全然採用せぬ樣にしたならば如何かと思ひました。

●土川先生、

こゝに私の暴言の愚を許して下さい、終りにただ現在の各國の兒童の運動問題がやかましくなつて來た時に、一面在來の學校體操に對して、興味深き運動競技が漸次その範圍を擴大しつゝある今日更に一面遊戯の表情的獨專の夢を破つて身體運動を尊重したる然も興味ある律動遊戯が生れて來たといふ事は實によろこばしい事であります、創案者たる先生の益々健康にして更に一歩の努力をゝしまれざらん事を切に祈る次第であります。――(七、十二、十五、)――

○机邊より（二）

……生垣に沿うて枯枝が落ちて居ると、「果な、これは何だらう」と考へて見る、これは魔法の杖だなあ。もし細長ければ槍となり、劍となる、それを振りまはすと、地の中から兵隊が湧いて來る。クリストフは、其大將になつて眞先に進んで模範を示して、小丘の攻擊にと向ふ。若し杖が撓め易ければ鞭になる、そしてクリストフは馬に乘つた氣になつて斷崖から斷崖へと飛んで行く。何うかすると其馬が、すべつて、騎士が泥底に倒れ、汚れた手と、すりむいた膝とを悲しげに眺めて居る。拾つた杖が柔らかだと彼は樂隊長になりすましたり、自ら樂隊になつた氣になつて調子をとつたり歌つたりして、叢に挨拶をする。叢は綠の頭を風に動かして居る。……(81頁へ)

冬期に起る小兒の病氣

醫學士　青木醇一

○氣候の影響から

寒さが烈しくなるにつれて、幼兒の感冒や氣管支カタルが大分多くなつて參りました、一體に子供は氣候の影響を受ける事が成人に比して大變に大きいので、寒い季節や暑い時候に病氣に罹ることが特に多く、春や秋の如き溫和な季節には病氣に冒されることが非常に尠なくなります。

斯樣な理由で私共は子供の病氣を大體二つに分けることが出來ます。つまり冬の病氣と、夏の病氣であります。冬であると主として呼吸器の疾患例へば鼻カタル、咽喉カタル、氣管支カタル、肺炎と云ふやうな病氣が多く、夏には下痢とか、嘔吐とか云ふ樣な胃腸の症狀を伴ふ處の消化不良症新しい名で云へば營養障碍のやうな病氣が大多數を占めて居ります。

○抵抗力が弱い爲

つまり之は子供は成人に比べて抵抗力が弱い所から寒さや暑さに負けるので、子供の年齡の少ない程それが劇しいのであります。乳兒でみると其の死亡率の大部分が營養障碍か、氣管支カタル又は肺炎とか云ふやうな寒暑二季節の病氣によるものであると云つて過言でない程多いのであります。子供の年齡がすゝみまして學齡兒童期を過ぎると割合に斯樣な病氣が尠くなりますが、四五歲位の幼兒にはまだ〳〵澤山あります。そこで昨今の樣な寒い季節であると子供の病氣は多く寒さに

負けて起つてくる氣管支カタル、肺炎等が大部分で、消化不良症などの樣な夏の病氣は一寸見たくもない位尠くなつて居ます。それ故子供を持つ母親なり、幼兒をお預りになる保姆の方々は子供の衞生に於て、特に夏と冬と各變つた注意が必要な譯であります。夏ならば食物の注意を第一として子供の胃腸を害さないやうに、又寒い季節には胃腸を害すといふ心配はずつと少く、ともすると風をひくとか、氣管支カタルを起すやうなことがあるから特に此の方面の注意を怠つてはなりません。

○昨今の小兒病とその手當

そこで今日は幼兒の冬の病氣とその注意に就て少しお話したいと思ひます。前に申したやうに昨今は幼兒が呼吸器道のカタルを起すものが大分多うございます。これは主として寒さに由つて起るのであります。尤もその外にも流行性感冒、麻疹ジフテリア、百日咳等の病氣に際して隨分呼吸器のカタルを起しますが、それ等以上に氣候の寒いと云ふことが大關係をもつて居ります。

呼吸器のカタルと申しますと、先づ鼻カタル、咽喉カタル、氣管支カタル、肺炎等であります。

鼻カタルの場合には鼻汁が多くなつて、鼻が塞つてくる、四五歳以上の幼兒にはそれ程大した症狀は起つて參りません。尤も小さい乳兒でありますと、單に鼻カタルだけでも鼻孔が閉塞して、呼吸が困難になつたり、哺乳を妨げたりして隨分重い容態になります。此の鼻カタルが少し進んで參りますと、咽喉カタルであるとか更に奥に進みますと、氣管や、氣管支カタルを起すやうになります。

咽喉カタルの時には聲が嗄れて、咳嗽が出て來ます。多少の熱を伴ふこともあり、幼兒の氣分が惡くなります。これ等は溫かな室に靜かに寢かせて置きますと多くは輕快します。併し時として幼兒は喉頭カタルで急に呼吸困難を起したり、聲が

嗄れ咳嗽が劇しくなり、犬の吠える樣な厭な咳嗽をするやうになつて參ります。此の時には子供は何となく不安の狀を呈して參ります。斯樣な症狀はよく夜間に現はれてくる事があります。丁度ジフテリー性「グルップ」に似た病症でありますからこれを假性クルップと申して居ります。此の發作は間もなく止む事もありますし、又數時間も續く樣なこともあります。斯樣な場合は勿論早く醫師の來診を乞ふ必要がありますけれども、徒にあわてないで靜かに寢かして頸部に、溫濕布でも施して置くと間もなく症狀が消散するのがあります。

カタルがもつと深くすゝみますと、氣管支カタル、或は肺炎になるのであります。斯うなると熱は高くなり咳嗽も增して機嫌が惡くなり、食慾も減つて參ります。其の上呼吸が早く忙しくなります。子供の氣管支加答兒や肺炎の折には息づかひの早い程病氣は重いと見なければなりません。

すべてこれ等呼吸器道の加答兒に對しては一番大切な事は室內を溫かにして、乾燥しない樣にして置く事で、火鉢に鐵瓶等をかけて蒸氣の盛にたつ樣にしとくのがよろしい。昔から病氣には「藥よりは看護」と云はれて居りますが、殊に幼兒の氣管支加答兒や肺炎は手當が第一であります。多くの母親が病氣には藥が第一だと考へて居らるゝ樣ですが之は大なる誤りであります。一服の藥を與へずとも靜に休まして吸入でもかけ、室はあまり乾燥せぬ樣に又溫かい樣に注意してれば氣管支カタルや肺炎は極く重くない限り自然に治癒に赴くものであります。

○平素の攝生が大切

幼兒が感冒にかゝつたり氣管支加答兒になつたりし易いものには、平素から攝生に注意して、身體の抵抗力を增す樣に勉むる事が最も肝要であります。それにはあまり子供を大事にして寒い風に當てないとか、雨の降る時には外出を留めるとか

云ふやうな消極的の事をしないで、成るべく戸外の遊戯を奬勵することにしたいと思ひます。乳兒期でありますと寒い時に外出すると屢々風をひき易いと云ふやうな事もありませうが、四五歳位の幼兒には、さう寒さを恐るゝ必要はありません。却つてあまり大事にし過ぎると、自然皮膚や粘膜の抵抗力が尠くなり、一寸してもかぜをひく樣になります。皮膚を丈夫にする目的で大人では冷水浴、冷水摩擦等が盛んに奬勵されて居りますが、幼兒には斯樣な方法は少し無理かと思はれます。敢て斯樣な特殊の强固法を行ひませんでも、戸外の遊戯等で充分であります。雨の日雪の日を厭はず幼兒の欲するまゝに戸外に遊ばせるがよろしいではありませんか、たゞ餘り風の强い塵埃のたつ時は避けたがよろしい。

今一つの注意は、なるべく子供には厚着の習慣をつけて置かぬ事が大切であります。戸外に遊んでる時などは多少薄着でも決して寒さを感じないものであります。又東京邊の寒さならば、幼兒には洋服ならともかく、和服の下にはシャツ、ヅボン下などは不必要であります。その外四五歳以上の幼兒には夜分寢につく場合にも寢衣は必らず溫めないで着換へさせる樣に慣らして置くがよろしい。

○體質の弱い子供は大切にせよ

併し體質の弱い子供、例へば滲出性體質とか或は腺病質等の幼兒では特に大事にする必要があります、かゝる體質のものはとかく注意して居ても呼吸器の粘膜が加答兒に罹り易いのでありますから丈夫な子供と同一には論じられません。出來るならば此の樣な子供は寒い季節には溫暖な海岸にでも轉地をさせるがいゝ、或は夏季に山や海に轉地させて其の間に體を丈夫にさせて置くと、冬になつて感冒にかゝらない、或は氣管や、氣管支を冒

されない豫防になりませう。

○恐るべきジフテリヤ

なほ一つ、幼兒の冬の病氣として一寸附け加へて置きたい事は、ジフテリアであります。此の病氣は多く寒い季節に流行し、主として幼兒を冒す恐るべき傳染病性の疾患であります。そして治療の時期を失しますと隨分危險の多い病でありますから、母親たるものは多少此の病氣に就ての心得あつてほしいのであります。ジフテリアに罹りますと、始め多少の熱が出て、氣分が惡くなり、時には子供が咽の痛みを覺えます。此の時に咽頭を見ますとそこに白いものが付いて見えます、斯樣な場合、單に「かぜだ」位に心得て捨てゝ置きますと飛んだ失敗をすることがあります。又此の病氣がもつと奥の方に進みまして、咽頭の部分に來ますと、その部分の狹窄を起して呼吸が苦しくなり、聲が嗄れて來る。そして呼吸の際に、のどの部分に鋸をひく樣な一種の雜音が聞えて來ます。咳嗽は一種特別で、丁度犬の吠える樣な咳嗽になり、一般の狀態が非常に險惡になつて參りまして、暫く捨てゝ置くと生命の危險を起して參ります。それですから寒い季節には子供が變な咳嗽をしたり咽喉の痛みを訴ふる樣な折には特に早く醫師の診斷を乞ふ事が大切であります。

米國加州幼稚園における

自由選擇保育の實驗報告

紹介子

子供の自由活動の尊重と云ふ事については、幼兒教育にたづさはる人々の、常に考へて居る事ですが、扨實際多人數の子供を一人で取扱ふ場合に、何處迄、子供の自由活動、自由選擇を許す事が出來るかは、いつも問題になる所です。最近(一九一六年九月以來)米國カリホルニヤ州の幼稚園が、共力して、特に、子供の訓練の上から、在來の設定保育——保姆が立案して毎日の作業を限定して行く方法——を全くやめて、思ひ切つた、自由選擇の保育を實驗して居ります。其報告が近着の「ザ、キンダーガアテン、アンド、フアストグレート」に發表されました、「まだ實驗最中の事で決して完成したわけでない」と、報告者も斷つて居りますが、其大要を次に紹介致しませう。

一　自由選擇保育の實行の動機及目的

平素から獨立、自由を尊重する米國が、今後の大戰以來、一層この念を高めました、「子供の頃から其有する生活力全體を正しく、充分に、あらはし得る樣に導いて、自治獨立の人間をつくりたい」と云ふのが、この實驗の目的であります、『自分を支配する事の出來る人、自分を有りの儘に發表する事の出來る人、與へられたゞけの責任を充分に果し得る人——かう云ふ頼み甲斐のある、底力のある人間を社會に送りたい』と、この記事の報告者は申して居ります、其れには出來る丈、幼時から、大人の干渉、無理おしつけの這入つた訓練をせぬ樣に、子供自身の經驗を尊重する樣にさせたい。在來の幼稚園教育はどうも、大人の頭から割り出した計畫方法である、其の立案が、果してどれ位迄、子供に適するものであるかゞ疑はしい、其處で、彼等の自發活動を充分見るためには、お膳立てをしたものを持ち出すのでなくて、只、其

材料をならべて、子供自らにお膳立てをさせる、しかし其材料は今の所は在來の物を與へて、實驗の結果、子供に不適當だと解つたものは之を除き又彼等の自發活動による要求をよく觀察して、更に多く今迄保育材料になつてゐないものをも與へ且家庭生活と幼稚園生活とを一層接近させる樣にしたい、「一樣」「平等」と云ふやりかたを極力廢して、子供一人々々の個性を充分にのばしたい、しかも米國の要求する國民は、健全なる民主思想を有するものであり、從つて、又他を統禦し、導くと云ふ才あるものも、人民の中から、出なければならぬ、それには幼時から、各々の個性に應じて、その能力を充分のばして行く必要がある。

大體かゝる立脚點から、實驗が行はれました。

二　實驗の方法

(a)　先づ保育室の一隅に、子供に屆く樣な低い棚、及戸棚をつくる、其處に種々の保育材料及遊具を整頓してならべて置く、

(b)　積木は通常の小なるもの（フレーベル恩物中にある）をまぜこぜにして箱に入れて出して置く、決して、組にして、箱に入れたり、又は幼兒一人分をきめたりはしない、其外に大形の床上積木を箱に入れて置く、これは特にこの幼稚園が工夫したもので、(1)煉瓦形のもの——長さ八寸、幅四寸、厚さ二寸、(2)圓柱、(3)角柱、(4)三角柱の四種である。

(c)　保姆は先づ、朝來ると、子供一人々々と挨拶して、其子供の氣分を機敏にとらへて、各々の興味によく觸れる樣に心掛ける。

(d)　保姆は、日々の細かい保育課程を定めずに廣大なる範圍で計畫をたてゝ、融通のきく心を持つて子供と接する樣にする。

(e)　幼兒は、棚にある種々の材料の中から、各各の好むものを取り出して來る、此時に同じ製作（手技手工）をする子供は集つて、一つの小さい組

をつくる樣にする、また製作をする子供は床上の敷物の上に坐つて初める、この小さい組が、一保育室内に幾つも出來る事になる、この時に保姆は各兒の自由選擇の樣子を見て、あまり容易なものを初め樣として居る小供には「もつと難しい事が出來る」と云ふ暗示を巧みに與へる、しかし、決して「あなたは何々をなさい、出來るぢやないか」と云ふ樣に命令はしない、何處迄も、暗示にとゞめ只、其能力を引き出す樣に努める、ある場合には朝、保姆が注意深く選んだお話を、きかせて、それが其日の製作の暗示(ヒント)となる事もある、此時、保姆は幾つかに分れた組の、何れか一つに交つて、また保姆自身の計畫した製作を子供と一緒に、一心に初める、各組の幼兒は各々自分の選んだ仕事について、其計畫を一心に成就せんとする、其の製作は、どれ程永く續いても、かまはぬ、熱心にして居る者を、外の遊びに轉ぜしむる事なき樣によく氣をつける。

かゝる方法で保育する事になると其計畫は日々に新たで、今日の案が翌日そのまゝ用ひられる事はなく、子供も先生も、毎日々々、新しい氣分で幼稚園に來る事になる。

三　實驗の結果

多人數の子供が、自由に、その製作なり、遊びなりを選擇する事になると、實行上、種々の困難が生ずるのである。先づ、

(a) 保姆は全然時間割をつくる事が出來ぬ、

(b) 子供が好きなものを選ぶためには背の屆く低い棚などの設備が、充分、必要である、又其處にある品物を、ゴチャ〳〵にしないで、幼兒自ら整頓する樣にし、又、使ひこなせる迄に、訓練する事は、なか〳〵容易でない。

(c) 同時に幾組もの子供の群が出來、一つ〳〵別々の事をしてゐるのであるから、保姆は各組を注意深く觀察指導しなければならない。

(d) 或る子供は他の子供よりも、早くやめてしまふ、かゝる時、次の遊びや製作に如何に導くべきか、又未だ熱中してゐる子供達の妨げとならぬ樣にするには如何に取扱ふべきか、これまた、難しい事である。

(e) 自由選擇によつて、子供の氣まぐれの心を增長させてはならない、其處で、那邊迄我々は「自由の方法」を許し得べきか、實際上この問題の解結に苦心するのである。

かゝる困難苦心は、あつても、又一方に在來の「お膳立て保育」で取扱はれた時には充分見出されなかつた子供の個性、其能力が充分發揮され、獨創的であり、人の命令を待たずして、進んで自ら取捨判斷をする樣になり、又、先生が幼兒に對しても一層信用をする事が出來る樣になつた事等を思へばこの努力も決して無駄ではないのである、自由選澤の結果が、幼兒に氣まぐれな、落つかない習慣をつくりはせぬかと云ふ事は、兎角、心配の的になる事柄であるが、これについても、實驗の結果は、子供が自分で選び自分で計畫した事柄には案外に熱中するものである、と云ふ事に一層自信を持てる樣になつた、また保姆の方では、一度子供が選んだ事は其の朝は、それだけを完成する樣に充分指導するものである、かくて不識の間に、獨立の習慣が出來て製作にも、遊びにも、落ちついて、安心して、取かゝる樣になる。

尙この實驗の結果、喜ばしき現象と思はれる方面を列記すれば

(1) 子供が疲れると云ふ事を知らなくなる（一體疲れると云ふ現象は熱中して、遊び過ぎた場合よりも、彼の充ち〳〵た生活力を適當に用ふる事が出來ず、且、他よりの無理强ひを感じた時にあの微妙な、寧ろ纖弱な神經細胞が損はれるのであらう）

(2) 自由の選澤、自由の製作により、知らず知らず獨創工夫の機會を多く與へる、

(3) 保育が嚴格な組織のもとに行はれないで、變化に富むものとなつて來る、また謂ゆるフレーベルの恩物のごとき大人の頭から等級をつけた保育材料が、幼兒にとつては、一樣な玩具として取扱はれるものである事が明瞭になつた。

(4) この實驗の結果、保姆が一層子供の能力に對して信用を置く樣になり彼等の自重心、自恃心のつよさに驚かされる、(一體、教育者が被教育者を信用しない程教育上悲しむべき事はない)

次にやゝ考慮を要する點は

(1) 保姆が用意した自然物(木の實、花、葉等のもの)は一向に、子供の注意をひかず、その儘、棚に殘つて居た事。

(2) 子供はお話の本にある挿畫を、彩色する事輪廓をかく事、其の繪を剪り拔く事、などを一向に要求しなかつた事。

(3) 子供は、音樂を奏してくれと云ふ事を、一度も云はず、又、歌ひたい、と自ら云ひ出した事も殆んとなかつた事。

(4) また、彩色の普通の形式のものや、花、圖案などを彩る事は好まず、それよりも、一層大仕掛ないろ〳〵、合同したもの、例へは玩具の荷車を塗る如き、又は紙にしても、大きな紙をぬる事を好んだ事。

以上の實驗は、皆が共同して試みて居るので、隔週の職員會には、各々其經驗を自由に語りあひ新しい試みの發表もし、失敗についてのいろ〳〵の議論もし、以て互ひに勇氣づける樣にする、又隣區の幼稚園關係者などを招待しては、意志の疎通をはかり、批評も交換し、かくて實驗の、一層有意義、有功ならん事をつとめる、この會の記事は、細かく記載して、後の參考にする樣にして居る。

尙思ひがけない結果とも考へられる事を列記して見ると、

(1) 子供が、自分で棚から自由に品物を取出す事であるから、保姆が無駄な手數を大いにはぶく事が出來、しかも反つて、子供には獨立自治のよい習慣をつくる事になる。

(2) 一人の保姆で多人數の子供を、充分に取扱ふ事が可能になる。

(3) 子供の自由活動、自己發表が盛になり、新しい工夫をするから、保育を一層有功ならしめんための多くの參考資料を得る事が出來る。

(4) 幼兒は幼稚園の音樂をこのまぬ、また彼等から進んで歌ひたいと云ふ事を云ひ出さない、これは全く意外な結果とおもはれる。

(5) 子供は自由に選澤して、製作もし、遊びもして居るから、參觀人が來ても、すぐに其の熱中してゐる子供の方に注意が引つけられる、そこで先生は後の方に引込んでゐる樣になる。

＊　＊　＊　＊　＊

以上が、先づ報告の概略ですが、これは私共幼稚園にも、大に、參考すべき方法であると思ひます、ことに、豫期しない結果——卽ちこの實驗の副產物——としてあげられて居る事の最後の項は餘程意味ある事かと思はれます、私共お互が、參觀する時にどうも、先生のする事を觀るのを目的とする傾向があります、保姆のする談話、その作業の指導振りを觀やうと初めから計畫して出かけます、子供が如何によく遊ぶか、如何に熱中するか、かゝる方面は先づ第二位におかれ易いと思ひます、しかし、この加州における實驗は「先生がひつこんでゐて、參觀人が、小供自身の活動に氣をとられる」と云ふ結果を特に記して居りますのは、我々に思ひあたる所がある言葉の樣に響きます、もつとも、此の實驗の報告者は「この實驗をしてゐる幼稚園を參觀する人は、たゞ一寸這入つて見たゞけでは、何の目的で、何をしてゐるのか解らない、しかし、注意深く、熱心に見れば、在來の保育法と如何に違つた影響を子供に與へてゐるかゞ解るであらう」と申して居ります、實際子供の自由選擇にまかせると云ふ方法に依れば在來の『お膳だて保育』の樣に保育室が整頓して居ると云ふ事は望まれない事でせう。

表情遊戯

麹町幼稚園長　土川五郎

近頃「大正幼年唱歌」に伴ふ遊戯を作つて見ましたので、茲に第一集の内、**櫻**、**ピアノ**、**飛行機**の三つを先以つ發表する事に致しました、勿論經驗も淺く力も御座いませんから、御實驗の上で十分の御批正を願はしく存じます。

一　櫻

圓形ヲ作リ圓心ニ向ク

一櫻が。一回拍手

咲いた。右手ヲ翳シテ右上ヲ眺ム、右足ヲ斜右前ニ出ス

櫻が。右足ヲ引クト同時ニ一回拍手

咲いた。左手ヲ翳シテ左上ヲ眺ム、左足斜左前ニ出ス

野にも。左足ヲ出シタル儘兩手ヲ兩側ヤヽ下ニ開キ掌ヲ下ニシ上體ヲ前屈シテ見下ロス樣ヲナス、

山にも。左足ヲ引キ付ケ兩肱ヲ肩ノ高サニ上ゲ兩手ヲ頭上ニ上體ヲヤヽ後屈シテ山ヲ眺ムル樣ヲナス

さくらがさいた。四回拍手ス

さいた。一回拍手

さくらに。一回拍手ス

あさひが。右足ヲ大キク斜右前ニ一歩蹈ミ出シ兩手ヲ斜右上ニ（右手ヲ十分ニ伸バシ左手ヲ之レニ添ヘル）掌ヲ下ニス

さして。右足ヲ引クト共ニ兩手ヲ體前ヲ通シテ斜左下ニナガス

野山。 左足一歩前ニシ兩手ヲ體前乳ノ高サノ所ヨリ掌ヲ下ニシテ眞直ニ突キ出ス

のこらず。 出シタル兩手ヲ左右ニ開キ兩側マデ廻ハス

は。 ニテ掌ヲ上ニ反ス

なのく。 上體ヲ後屈シツヽ、兩手ヲ頭上ニ左右ヨリ丸クアゲ、此時目ハ手ニ伴フ

も。 足ヲ引キ兩手ヲ兩側ニ下ロス

二櫻が散るよ。 兩手ヲ體前高ク指先キヲ合セテ上ゲ直チニ漸次左右下ニ開ク、此ノ時兩指先ヲコマカニ動カシテ散ル樣ヲナスコト七回

櫻が散るよ。 同前

蝶々の樣に。 兩肱ヲヤヽ屈シテ手ハ左右ニ

櫻が散るよ。 開キ蝶ノ翅ノ如ク動カシツヽ、緩ヤカニ右回轉ス

風に吹かれて。 兩手ヲ左右ニ十分伸バシ極メテ輕ク蝶ノ風ニ吹カレテ飛ブ如ク手ハ上下ニ大キク動カシツヽ、左横足二回

お池を越えて。 同樣ニシテ右ヘ横足二回

さくら。 左足一歩前ニ右手ヲ左前ニ掌ヲ下ニシテ出ス

何處まで、 右足一歩前ニ左手ヲ右前ニ出ス

ちつて。 一回拍手スルト同時ニ手ヲ兩側ニ開キ(肩ノ高サヨリヤヽ高ク)足ハ膝ヲ出シ右足ヲスリツヽ、左足ニツケ、踵ヲ上グ

ゆく。 靜カニ手ヲ兩側ニ下ロスト共ニ踵ヲツク

二　ピアノ

圓形ヲ作リ圓心ニ向フ

ポンポンポン。 右手ニ「タクト」テ持ヲル如ク體前中央ニ目ノ高サニ上ゲ左手ニ手背ヲ腰ニツケ用意シ右手ヲ下ニ次ニ左ヘ次ニ右ヘ次ニ上ヘ

ポンポンポン。 同前

ピアノガ。 兩手ヲ體前中程ニ指尖ヲ曲ゲテ出シピアノヲ彈ズル如クシテ兩手ヲ次第ニ左右ニ

開クコト（四度ピアノヲ彈ズ）

ポン。 更ニ大キク一回開キ

ポンポン。 中央ニ近ク二回彈ジテ兩手ヲソロヘル

手を。 一回拍手ス

たゝき。 三回拍手ス

うたへ。 手ヲ下ニシテ唱フ

こゑたかく。 兩手ニテ口ノ處ニ小サキ圓ヲ作リ

うたへ。 顏ヲヤヽ右上ニ向ケ（手モ共ニ）テ唱フ

いさましくなれよ。 右手ヲ堅ク握リ體前ニテ左ヘ右ヘ左ヘ右ヘ彎形ニ振ルコト八回、此時八歩前進ス左手ハ腰ニス

おもしろくなれよ。 兩手ヲ（指先ヲ揃ヘテ）體前ニテ山形ニ合セ左右ニ開キ又モトノ如ク山ニナシ又開クカクスルコト八回（極メテ輕快ニ）此ノ時八歩退ク

ポンポンポン。

ポンポンポン。

ピアノカポンポンポン。（初メニ同ジ）

三　飛行機

圓形ヲ作リ圓心ニ向ハシム

あれひかうきが。 右上ヲ眺メ四回拍手ス

とんで。 拍手シツヽアリシ手ヲ（掌ヲ下ニシテ）左右ニ開ク、此ノ時右足ヲ引キ、ヤヽ兩膝ヲ屈シ顏ハ右上ヲ向ク

くる。 直立ノ姿勢ニ戻ル

あんなにはやく。 左上ヲ眺メ四回拍手ス

とんで。 兩手ヲ開キ左足ヲ引キ兩膝ヲ屈シ顏ヲ左上ニ向ク

もうあれ。 左足ヲ一歩出シ右手食指ヲ左ニ半バ倒シ左斜上ヲ指シ目モ其方向ニ注グ此時上體ヲヤヽ右ニ傾ク

あそこに。 右足ヲ更ニ一歩出シ左手食指ヲ右ニ半バ倒シ右斜上ヲ指シ目モ其方向ニ注グ此時上體ヲヤヽ左ニ傾ク

とんできた。 掌ヲ下ニシテ兩手ヲ左右ニ開キ膝

ノ屈伸ヲ行フ（とん屈シできニテ伸シたニテ屈ス）

いますぐ。出シタル右足ヲ左足ヨリモ一歩後ロニ引クト同時ニ右手ヲ翳シ右上ヲ眺ム

みないと。左足ヲ右足ヨリ一歩後ロニ引クト同時ニ左手ヲ翳シ左上ヲ眺ム

かくれま。右足ヲ左足ヨリ一歩後ロニ膝ヲ屈シテ、スリツ、引ク時兩手ヲ左右側ヲ通シ、後ロヨリ上へ頭上ニ運ビ上體ヲヤ、前ニ屈シ兩指ヲ頭ノ前ニテ合ス

す。ニテ直立ノ姿勢ニ復ス。

○机邊より（三）

……彼はまた魔法使となつた。大股に野を濶歩しながら空を仰いで、大手を打振る。そして雲に命令する。「右に行け!!」と命じたけれども、左へ行つた。すると、此奴、何故、俺の云ふ事を聞かないかと云つてまた命令する。彼は横目して雲行を瞶みながら念じて居るけれ共、やつはり雲は悠々として左の方へと行く。其處で今度はウンと地を踏みつけ、ステッキで其雲を嚇かし、苛々しげに、「左へ行け」と命ずれば、今度は從順に左の方へと流れ行く。かうして彼は自分の力を誇つて喜んで居る。彼は、また、花に觸つて「黄金の車になれ」と命じた。仲々變らないけれ共、辛棒してゐたら變るだらうと思つて居た。蟋蟀を兎になさうと思つて瞶み、杖を靜つと其の背にのせて穏秘を唱へた。蟋蟀はピョン〳〵逃げる、「こいつ逃げてはならぬぞ」と其逃げ道を遮る、暫くすると彼は匐つて其に近寄つて見て居る、すると、もう、魔法使であつた事は打忘れ、哀れな其兎を捉へて仰向になし、ケラと笑つて居る。——

——ローマン、ローラン——

二月の園藝

東京女子高等師範學校教授　有川ひさえ

一月や二月は昔から農閑といひ、何にもする事がなくて、火にでもあたつて居ればよい時のやうに聞えるが、さうではない、矢張り此頃には此頃の仕事がある。殊に小供は風の子といはれる通り寒さなどには平氣なものである。小供でなくても働いて居る人は、火鉢を抱へて寒さを怖れて居る人より暖いのである。霰や風の中でも、鍬を握つて寒さと戰つて居る時には汗が流れる。氣持ちがよい。大人でも仕事がやめられぬのである。

一　花壇や畑の粗耕

冬の間は大抵の花壇や畑は空になつて居るものであるから、此間に深く粗く耕起して置くとよい、凍つてそれが碎け、春になるまでによくこなれた土となる、殊に種の害蟲の越冬して居るもの等も同時に掘り出して、死滅さすることが出來る。

せいぜい深くしたい、さうする内には年々と、耕土の深いよい花壇や畑となる。又粗く耕起して置きたい、此方がよく空氣や光線を通し、土壤の風化や、肥料の分解や種々有益なる作用が充分に行はれ易い。初めから細かく碎いて、均して置いたりするのは是等の目的にあはない。

此仕事は冬の實習には最も適してゐる。出來るなら鍬の數をせい〳〵澤山にして置いて、めいめいに持たせたい。勿論鍬は重量や柄の長さ等を考へて、小さい働者が苦しまずに働けるやうには心配してやらねばならぬ。

二　培養土の製造

是れは恰も事業をする時の資本のやうなものでこれなくてはとかく苦勞が多くて、成功が覺束ない。殊に春になり、菊や朝顏の一鉢宛も、各兒に丹誠させたいとも思つたら、是非この支度をして置かねばならぬ。此支度さへあつたなら、年中何でも、らく〳〵に培養する事が出來る。花屋では一舛幾錢といつて、はかり賣りにして居るが、買つてするやうでは、心細いし娛しみも少い。造り方等は人々によりまち〳〵である。落葉は是非欲しい、これは掃除の際に、はきよせたのを、塵箱にすてたり、燃して灰にしたりなどしてしまはず、庭の隅の方にでも集めて置いて使へばよい。この他に豚舍とか、鷄舍のやうなものでもあつて、褥藁なり、屎なりを得ることが出來たなら、申分はない裏庭の日のあたらぬ、目ざはりにならぬ所で、深さ四五尺の孔を掘つて置いて、此處に前の材料をだん〳〵搬び入れて、下肥なら充分であるが、これが仕憎かつたらどぶ水でも何でも濁つた水をかけてやればよい、此上に、同じ容積位の畑土を運び入れ、これを繰り返していつぱいになつたら上は菰とか、板のやうなものでも被ふて、せい〳〵雨にうたせぬやうして置きたい。尙ほ成るべくは一月も離て〻二三回掘りかへしてよく混合し、此際水肥のやうなものをかけてやるべきである。

もつと簡單に、溝底の土を浚へあげて乾して置き、かたまつたのを碎いて篩つてしまつて置いても、此中には落葉や他の有機分が澤山含つて居るからなか〳〵好ましい。培養土としては土中に落葉のやうなボロ〳〵した形のあるものを含み、且つ肥えて居ればよいので、斯樣な土を用ふると鉢内が常にフワリとして水ぬけはよいし、日はよく通ふし、自然、土中が溫かで植物の根はよく育ち、隨つて全體の成育をよくするのである、ちと憶劫な仕事のやうに聞えるけれど、小供には決し

て憶劫な仕事でない。運搬さへすればよいので、唯だ先きに立つてする人が喜んでするならば、小供には大滿足の仕事である。殊に仕事を了へた時の小供のうれしさうな面持ちは斯く筆を運ぶ間にもあり〳〵とうかゝはれる。目的のない運動よりいくら樂しみかしれぬ。冬の間に仕込んだ土は早速今年の春夏の使用に間に合はせる事は出來るが一年もたつてつかふと一層好ましい、一寸數鉢すぐ間に合はせたい等と思ふ時は、ゴミ溜の底の方のポロポロした黑い土をとり、二三日も日に乾して置くと、みゝずとか他の害蟲等が出ていつて早速用ふることが出來る。

三　春に蒔く種子物の準備

來月末(東京以西ではもつと早くから)になるとボツ〳〵種子蒔きを初めねばならぬから、今の内に其つもりをして置くべきである。本年の夏から秋にかけ花をみたり收獲したりするものは大抵春に蒔くのであるが、幼稚園でどんなものを作るべきかは次回に述べたいと思ふ。

種子は成る可く購入を少くし自園で採ることにしたい、これは容易いやうで、なか〳〵むづかしいもので、つい時を過し、氣の附い時にははや種子は落ちてしまつて居るといふ場合が多い。出來るなら、此花は誰れ、といふ風にめい〳〵分擔して採種させ、せい〳〵澤山に採らせて互に分配しあふやうにもしたい。種子を採ろうと思つたら此間に綿密な觀察力を養ひ、又收穫のたのしみもえられる。殊に自分の採つた種子を更に蒔いて世話するのは他所からの種子を育てるより一層たのもしいものである。

種子を他から買ふといふ事は決しておつくうがらずに少しく遠方であつても、信用のある種子屋からにすべきで、あまり蒔時にせまらぬうちに葉書一枚出すと、カタログを送つて來るから、これによつて注文して置けば間にあふやうに屆けて

くれる。

序に申添へたいと思ふ事は、種子を郵便で他に送つたりする場合に、これは特に農產物種子として第五種郵便で、三十匁までは開封にして一錢貼りさへすればよいのであるが、よく二錢を貼つたり、時には手紙か小包のやうに封じてしまつて種子代よりも高價な郵稅を拂つて居る向きもあり、餘り胡亂な事に思ふ。老婆心からこんなつまらぬ事までつけ加へて置く。

◎日本幼稚園協會常集會

本會は、卷首に掲示の通り、來る二月八日（第二土曜日）午後正一時半より東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て常會を開き、當日は倉橋惣三先生の「斯く育てたしと思ふこと」及び權田保之助先生の「おもちや繪の話」と云ふ、興味ある御講演があり、又、この繪のお話については、實際の參考になる品の展覽もあります。直接幼稚園に御關係の方は勿論、家庭のお母樣お姉樣方もお誘ひあはせて、奮つて御來會を希望いたします。

二十四孝の中より

東京女子高師訓導　山岸德平

楊香

昔、支那に楊香といふ子供が居りました。或日父と二人で奥山へ木を伐りに行きますと、大きな虎が眞紅の口をクワッと開いて牙を鳴らしながら父を目がけて馳けて來ました。楊香は虎を追ひ退けようとしても叶はないと知つて、驚きの餘り魂も身に添はず、只、天を仰いで「希くば我が命を虎に與へ父が命を助けさせ給へ」と一圖に憐愍を乞ひました。この眞心が通じて天も哀れと思つたか、さしも荒れ狂うて來た虎が俄に尾を垂れ牙を納めて何處ともなく去つたから、父子は幸にも虎口を逃れて恙なく家に歸る事が出來ました。これを聞き傳へた人々が誠に楊香が孝心の深い故と感心しない者はありませんでした。

王祥

王祥は幼い時から親思ひの人でありました。雪の降つた或る寒い日に母が生魚を望みましたから、骨身に沁み通る寒氣を物ともせず、肇府といふ處の河へ行つて見ました。けれども冬の事ですから、河一面厚い氷に閉ざされて、如何することも出來ません。そこで暫く考へて居りましたが、突然眞裸になつて氷の上に臥しますと、厚い氷も少しつゝ溶けて、そこから二匹の魚が潑溂と飛び出しました。早速捕へてつゝみきれぬ嬉しさ共とに母の許へ持つて行きました。これも孝心の厚かつたゝめであると、遠近共に褒め傳へたといふこ

とであります。

黄香

昔、安陵といふ處に、黄香といふ人が居りました。九歳の時、母に別れてから、力を盡して一人の父に仕へました。夏の暑い時は枕や座蓆を破れ團扇で扇いで少しでも涼しくしてやり、冬の極めて寒い時はいつも自分の體で冷い蒲團を暖めてやりました。この事がその地方の太守なる劉灌の耳に入りますと、所々に札を立てゝ其の孝行を褒めましたから、その地方の人々は黄香を孝行第一の者だと賞讃して語り傳へたといふ事であります。

冬月溫レ衾煖　夏天扇レ枕涼
兒童知二子職一　千古一黄香

張孝と張禮

張孝と、張禮は兄弟であります。或年非常な飢饉のために五穀は殆ど稔りませんでした。據ん所なく二人は、力を合せて木の實を拾つて八十餘歳の母を後生大事に養つて居りました。例の通り張禮が山へ行つて、木の實を拾つて居りますと、飢ゑた一人の盜棒が來て張禮を殺して食はうと言ひ出しました。張禮は覺悟を定めて言ふには「我れに老いたる母あり。今日はまだ食事を參らせざる故に、暫しの暇を賜れよ、母に食物を參らせて、直ちに歸り來ん、この約束を違へば家へ來て一族迄殺し給へ」と告げ、急いで家に來て母に食事を進め終つて約束の通り再び山へ行きました。かくと知つた兄の張孝は後を追うてこれも山へ行き、盜棒に言ふ樣「我は張禮より肥えたれば食するによからん。張禮を助けて我れを殺せよ」と歎けば、張禮は又「我は初めよりの約束なり」と互に死を爭ひましたから、無道の盜棒も兄弟の孝と義に感激して、死を許したのみならず、かやうの兄弟は古今稀であるといつて米二石、鹽一駄を與へました。二人はそれを貰つて歸つてから益々孝行を盡して

老母をいたはりました。

偶値緣林兒　代烹云瘦肥
人皆有兄弟　張氏古今稀

吳猛

吳猛は既に八歳頃から孝心厚い子供でありました。不幸にして貧しい家に生れたゝめ萬事不足勝ちに暮して居りました。ですから夏になつても蚊張はありません。その時、吳猛は「我が衣を脫いで親に着せ、自分が素ッ裸になつて蚊に食はれたら、蚊は我身を食ひに集り、親を幾分でもたすける事が出來よう」と思案をめぐらし、終夜、裸體になつて親の傍に坐して蚊に食はれて居りました

夏夜無帷帳　蚊多不敢揮
恣梁膏血飽　免使入親闈

瘦黔婁

瘦黔婁は南亭といふ處の人であります。役人となつて孱陵縣へ赴任しましたが、まだ十日も經ぬのに何となく胸騷ぎがいたしましたから、若しや父が病氣にでもかゝつて居はしないか心配し、即日官を棄てゝ歸つて見ますと、案の如く父は大病になやんで居りました。黔婁は驚いて醫師に尋ねると醫師は「病人の糞をなめて見て、若し甘く苦いならばよくなるでせう」と語つた。黔婁はこれを聞くや否や「た易い事です」とて嘗めて見ると味は惡かつたからやがて死ぬのを悲しんで身代りになる樣にと北斗の星に心願をかけました。

郭巨

郭巨は河内といふ處の貧乏人であります。三歳の子をもつて居りましたが、郭巨が老母は孫の可愛いさに多くもない自分の食事をすら分け與へて居りました。或時郭巨は妻に向つて「貧しいため母の食事も不足と思つて居るのにそれすら分けて孫に與へたならば足らぬ事明かなり。是れも我に

子の有る故ぞ。汝と夫婦たらばまだ子供は生るべし。母は二人とないからに、この子を埋めてよく母を養はんと思ふは。」と語れば妻も悲しい事とは思つたが夫の命に從つて三歳になつた可愛い盛りの兒を連れて遠い處へ埋めに行きました。男ながらも愛にひかされて郭巨は涙ながらに穴を掘つて居ますと、地中から黄金の釜が出て來ました。而も不思議なことには、天賜ニ孝子郭巨一と云ふ樣な文字があり〳〵と讀めました。この釜を得て天の助けを感謝して兒をも埋めず釜と共に連れかへつて愈々孝養を盡したと傳へて居ります。

孟宗

孟宗は幼にして父を失ひ、老いた母にかしづいて居りました。母は老人の事とて食物の味も變りがちでたえず諸々の物を望んで止みませんでした、丁度冬の眞最中の事、筍が欲しいと言ひ出しまた、孟宗は鋤をもつて裏の竹藪へ行つて求めましたが何分雪の深く積つた時でしたから、如何して筍などがありませう。孟宗は途方にくれて竹に倚り添ひ天に祈りをかけて憐みを乞うて居りますと、俄に大地から筍が簇々出て來ました。乃ち大喜びで掘り取つてかへり、羮にして母に差しあげると母は病も無くなり齡も大變延びました。これも孝心に感じて天から授かつたものであると、人々は語り次いで居ります。

淚滴朔風寒　蕭々竹數竿
須臾春筍出　天意報ニ平安一

不感心な二十四孝の仕方

支那では「孝は百の行本」と申しまして、すべての行の第一に位するものが孝になつてをります。そこで孝に關係した行爲は隨分賞讃せられて居りまして孝子傳とか讀孝子傳とかいふ樣な書物もある位であります。今述べた二十四孝も題目だけは誰知らぬ者も無い程有名になつて居りますが、考へ

て見れば感心の出來ぬ仕方がなか〳〵澤山あります。一夜中眞ッ裸になつてジッとして蚊に刺されてゐるのも馬鹿々々しい話ですし、醫者の言葉だと言つて、縣知事が鹿爪らしく親の糞を嘗めて見て味がよくないからと心配するなどは、味のよい糞もあるのか知りませんが、支那人ならでは出來ぬ藝當、又裸で氷の上に臥すのも氣のきかない話ではありませんか。少し位の體溫よりドン〳〵火を焚いたら餘程早く溶けたでせうに。然し此處に身を殺して孝を盡すといふ所があるものとも見られぬこともありますまい。

元來、二十四孝の話は元の時代に、郭居業といふ人が作つたもので殆ど全部が隨分極端な世俗談に過ぎないのであります。

序にあげると孝子二十四人の名は次ぎの通りであります。

大舜、　漢文帝、　曾參、　丁蘭、
孟宗、　閔子騫、　王祥、　老萊子、
姜詩、　唐夫人、　楊香、　董永、
黄香、　王褒、　郭巨、　朱壽昌、
剡子、　蔡順、　庾黔婁、　吳猛、
黄庭堅、　江革、　陸績、　仲由、

仲由と江革の代りに張兄弟と田兄弟を擧げたのもあります。

新作お伽話

羊の毛ごろも

神戸幼稚園長　望月クニ

それは〳〵大昔のまたその昔のことでございました。或る大變にお偉らくてまた大そうお立派な一人の神樣がお居でに成りました。或る時のこと神樣は下界（シタ）の方を見おろして御覽になりますと、そこは暗闇の何んにも無い殺風景なものでございました、そこで神樣はお考へになりましてお日樣をおつくりになりました、お月樣をおつくりになりました、また海も出來れば山も出來ました、其處には海に住む色々の魚もおつくりになれば春に咲き秋に紅葉する凡ての美しい數知れぬ草木をおつくりになりましたが、これ丈では何んだかものたらぬと思召して最後に色々の動物をおつくりになりました、折柄時は寒い〳〵冬にさしかゝつて參りましたので、それ等の動物に毛衣を造つてやり　いと思召した。さあ神樣は何を一番に呼んで衣を與へ樣となさるでしょう。

丁度其の時しめつた土の上を如何にも寒むそうに匐て居る小さい〳〵ミゝズにお目が止りました神樣「ミゝズヤ〳〵」とおよびになりましたが然し何の答もなく其の儘逃げました。

次はタコに御聲があつて、神樣「タコヤ〳〵」と仰せになりましたが何の答もしないで長い氣味惡い八つの足を伸べて何處かへ去つてしまひましたので彼も亦衣をいたゞくことが出來ませんでした。

其處へ蛇がやつて參りましたので神樣「ヘビヤヘビヤ」と繰り返しておほせになりました、彼は神樣の方を見ながらあちらに去つて行きました、其處で神樣はあゝ何んと云ふ者どもであらうと歎息しながら上を仰いで御覽になりました、處が時しもを空かける鳥にお目が止りました。早速神樣は

彼等をお呼びに成りますと鳥はさもうれしさうに雀はチユ〳〵〳〵と鳥はカア〳〵とそれ〴〵の聲を出して飛んで參りましたので、すぐにつやつやとした羽の衣をいたゞいて出來る丈大きくつばさをひろげ樂しい國をめざして飛んで行きました、中でも孔雀は一番お返事が上手に出來ましたのであんなに綺麗なころもをいたゞくことが出來ました。

次に神樣は大變に大きいものを見つけになりましたそれは見るから猛々しい雄獅子でございました神樣「獅子よ〳〵」。するとあたりになりひゞく樣な大きな聲を揚げてウオ〳〵〳〵といつて神樣の前に參りましてうづくまりました。其處で神樣が「御前は此の山へ行け」とお命じになると何にを思つたのか彼はその反對の山に一目散に走せて參りました、せつかくお返辭をして神樣のお側まで來たのはよかつたけれ共、最後のおいひつけにそむいたゝめに首から上だけしか毛ごろもをいたゞくことが出來ませんでした、次に、神樣は猫を御覽になつて「猫よ〳〵」とお呼びになりました、するとニャン〳〵といつてお答はいたしましたが鼠を見て後もふりかへる暇もなく去つてしまひました、猫はお返辭丈は上手にいたしましたので毛を頂戴いたしましたがお側にも來ないで走つて逃げましたために冬になると寒むがつていつもぶる〳〵震へて居ります。

何處までも御心の寛い神樣は猶も寒くて困つて居る者に衣を與へ樣としておいでになりますと、生き〳〵としたるみどりの草は生ひ茂つて居る、其の間を縫ふ樣に流れて居る小川の水は紫水晶や珊瑚の樣な影を映じてその音は遠くに近くに高く低く強く弱く天地の調べとハーモナイズして居る間をあちらこちらに歩いて居る小羊の群が眞に樂しそうに親子兄弟で仲よくして居りました。

神樣はそれを御覽になつて。「羊よ〳〵」とおほせになりますと、羊どもは一匹も殘らずみんな返辭

をして神様の方へ參りました。神様は其のしとやかですなほな彼等の心をみそのはし給ひて神様「お前達はおとなしい者どもぢや」といつて一番長くてよい毛衣をおやりになりました。神様からそんな結構な毛衣をいたゞいた羊どもは寒さも知らずに樂しそうにして居りますと、或る日のこと、はるか向ふの方にかつて見たことのない形をした二つのものを見つけました。

羊「あゝ不思議なことがある一體向ふに見えてるあれは何んであらう、私共は四本の足をして居るにあれは二本の足で體には薄ぎぬ一つも被ふて居ない。」といひつゝ進んで行つても彼等は少しも氣がつかないで顏に手を當てゝさめ〴〵と泣いて居りました、そこで羊は「一つたいあなた方は誰でございますか。」

二人の者「私共は何を秘しましようアダムとイブと申す者でございまして神様のおいひつけにそむいたゝめに大變なお怒りを蒙つてかうして食べる物もなければ着る物もなくて流浪して居ります。

羊「あゝそれはほんとにお氣の毒でございます私共は神様のお惠でこんな樂しい處で暖い衣をいただいて何不足なく暮して居ります」といつて自分達の毛であたゝかい布をつくることを敎へてやりました、その布は丁度今のフランネルや、ラシヤの様な種類のものでございます。

アダムとイブは其の布が如何にも輕くてあたゝかくて氣持のよいので大變によろこんで羊の好きな紙をその御禮にやりました、羊はまたそれを貰つてよろこんで分配けて食べました、そこで羊の肉は皆さんの知つて居る通り丁度紙にはがれるのでございます。

私共はこれから羊をたくさん飼ひませうね。

（終り）

會報

○會長の挨拶

去る十二月本會臨時總會の席上湯原會長から大體左の如き挨拶がありました。

今日は、會名を變更しましてから初めての會合でありますから、私も、一言ご挨拶を申上ませう。前回にも申上ました樣に、會名の變更の必要は、大分昔から感ぜられて居つた事ですが、今度、愈々「日本幼稚園協會」と云ふ名になりました、これは至極適當の事と思ひます、かゝる名稱の會が、日本に存在するのは決して不自然の事ではありません。日本では、幼稚園の教育は、割合に早くから起つて、また、よく進歩して居るのでありまして、歐洲諸國に於ても殊にドイツなどは本場であるにも拘はらず、あまり振つて居らぬのみならず、一時は幼稚園の撲滅をはかつた人もあつた位でありますが、今はさうではありません、同じく獨逸系統のオーストリヤも、あまり盛でない、一番盛なのは、何と云つても、アメリカであります、此處には市、町、村立の立派なものがあり、又、州によつては法律できめて居る所さへあります。下はどこまでも行ける所まで低く、上は、どこまでも高く教育の範圍をひろげて行かうと云ふのが米國の方針で、日本の樣に年限短縮などはしません。上にも下にも、大にのばそうと云ふのであつて極端なものは幼稚園から大學までの年限がなか〳〵日本の樣ではないのであります、もつとズットのびてゐます。日本に於ても、結局、將來は、米國のごとくなるであらうと思ふ、教育が有効なるものであるならば、なるべく長いのが結構です、日本の教育を初めに世話しに來たのが米人でありますが、そのため日本の教育も、余程、米國風の感化をうけて居ります。我が國に於て幼稚園が古くから設立され割合に盛であると云ふのもこのためであります。

殊に、今日では、東京、京都、大阪、神戸、靜岡、名古屋、香川、福島、岡山の各地に於ては、殊に統一せる保育會が出來て居ります、私は將來各縣、各市に、教育會があるごとく、保育會を設立せんことを望むのでありまして、只今も、倉橋主幹とお話をして居つた事ですが、私もよく地方に出張致しますから、其都度各地の當局者ともはかり、廣くこの保育會の設立せられる樣に努めるつもりであります。

次には幼稚園其のものが、もつと普及し、もつと强固な基礎のもとに立ち、園長及び保姆に有力なる人を迎へたいと云ふ事であります。而して、將來の我々の努めは、幼稚園の眞價を一層世間に知らしめ、幼稚園が小學校と並んで必樞なるものと考へられる樣に致したいのであります、不肖ながら私も關係ある位置にありますから、この事に對して一臂の力を添へたい、またこれについて皆樣の御援助を仰ぐ次第であります。

茲に特に、一問題となつて居る事――そのためにわざ〳〵皆樣のお集りを煩はしたのは――兼々、保育關係者の希望して居る所の年功加俸の事であります、この制が、保姆諸君にも及ぶ樣に意見書を先づ提出すると云ふ相談ですが、これは我々保育關係者年

來の宿望であつて、これには皆樣も御異存のない事であると思ふ。私が、特に法規なども調査して見ましたが意見書を出したからとて、直に行はるゝや否やは疑問であります、然し、これを當局に要求する事はよい事です、兎角、教育界から政府に建議する事は、勝手なものであるとの感もありますが、倉橋氏も、これは余程愼重に考へられた事で、屢々私にも意見をきかれ、私もお助力した次第で、また建議案の出來ました上は、私自ら、これを齎して、大臣にも直接面會し、徹底をはかるつもりであります。然しこれは勅令を改めねばならぬ事で、この勅令の改正と云ふ事は案外難しいものであるから、此處で蹉跌するかもしれぬ、しかし繰り返し要求して早晩は徹底する樣に致します。只、直ぐには出來る事は受合へませぬから、之を直に實現出來る事の如くに、我我責任者お互の口から、吹聽する事は避けねばならぬ事です。

今日は、後刻、本校の齋藤教授が「大戰の開始、經過、終局」と云ふ題で御講演下さる事ですから、私はその前に講演がましい事は致しません、同教授は世界歷史を御專攻になつて居られる方ですから、どうか充分にお聞きになる事をお勸め致します。

要するに將來私は會長としての實をあげ、幼稚園の普及、勃興をつとめる積りでありますから、皆樣もよく、此の意を御諒察下さいまして、御盡力を願ひたいのであります。實に、幼稚園教育は兒童問題の基礎となるものであつて、まだ〳〵、未決の事が多いのでありますから、これより一層の努力を要する事であると信じます。これをもつて今日の御挨拶と致します。

○建議案

右總會席上滿場一致を以て議決せる「幼稚園長及幼稚園保姆の年功加俸及疾病療治料に關する建議案」は十二月二十四日會長自ら之を齎して親しく文部次官に面會して提出されました、その全文は左の通りです。

建議案

幼稚園長及保姆の資格待遇に關しては明治三十年文部省令第十四號小學校令施行規則に基き小學校教員の例に依り實施せらるゝに拘はらず、一方小學校教員にありては明治三十三年勅令第百三十三號市町村立小學校教員加俸令を以て年功加俸給與の規程あるに對し幼稚園長保姆に對しては何等之に及ぶなし。之れ永く遺憾とせる處にして殊に時勢の進運に伴ふ保育事業の發展は經驗ある園長保姆の待遇に關して改正を加ふるの益々急務なるを感ぜしむ。願はくは此の趣旨により法令規則の適當なる改正增補あるやう御取計ひ下され度く、茲に本會總會の決議に基き別項を具し及建議候也

大正七年十二月二十四日

日本幼稚園協會長　湯原元一

文部大臣中橋德五郎殿

建議事項

一、幼稚園長及保姆ニ年功加俸ヲ支給セラレタキコト

二、幼稚園長及保姆ニ疾病療治料ヲ給與セラレタキコト

以上

大戰の開始、經過、終局

東京文科大學助教授
東京女子高等師範學校教授　文學士　齋藤清太郎

――本會臨時總會席上に於ける講話――

○開戰前に於ける列强の關係

此の度の戰爭の起つた所以を了解しやうと思へば、先づ戰爭の始まる前に於ける列强國の關係に就て、大體の知識を有する事が必要である。列强の關係を更らに二つに分けて、獨逸側と、聯合國側として申さうと思ふ。

○獨逸とその同盟國

一八七一年、今から四十九年前に、獨逸が佛蘭西との戰に勝つて、その愛國者が多年の熱望であつた國民的統一を完成し、歐羅巴の中原に覇を唱ふる獨逸帝國を建てた。その後に於ける最初の皇帝はウヰルヘルム一世、卽ち今の獨逸皇帝の祖父に當る。その宰相ビスマークの外交に對する方針は、平和の維持であつた。それは、新たに得たる獨逸國民の統一を益々固くし、又多年分裂の爲めに、發達する事が出來なかつた國力の涵養を計る上に於て、最も大切なことであつたからである。それで此の望むが如き平和を維持せんが爲めには、ビスマークは、先づ佛蘭西の復讐戰爭を防ぐことに力を用ひた。獨逸は佛蘭西にアルサス、ローレイン二州を割讓せしめ、五十億法(フラン)の償金を支拂はしめた。而してビスマークは佛蘭西の復讐戰爭を防ぐ手段として、佛蘭西が歐羅巴の强國の或

るものと同盟を結ぶことを妨げた。佛蘭西單獨の力ならば彼は恐れなかつたが、唯恐るべきは佛蘭西が歐羅巴の强國中に同盟者を見出すことであつた。ビスマークの非凡なる外交手腕は、よく其の目的を達することを得た。卽ちビスマークは一八七二年に、獨逸、墺太利及露西亞を聯合せしめて新謂三帝同盟を作つて佛蘭西を孤立せしめた。その後一八八二年に三國同盟卽墺太利、伊太利、獨逸の同盟を成立せしめた。三國同盟の條約文は秘密に附せられてあつたが、一九一五年、卽ち此の度の戰爭の二年目墺太利政府は、その三、四、七の三ヶ條を發表した。その他は今日迄世に出て居ないが、大體同盟の主意は、三强國互に相助けて、その中の一ヶ國が他の國から攻擊を受けた時は、兵力的援助を與へること、所謂防禦同盟であることは一般に認められて居る事實である。その上にビスマークは、感情の上より英吉利を好まなかつたに係はらず、外交の目的から、英國と親善な關係を保つことに努めた。斯くの如くにして彼は佛蘭西を孤立せしめて復讐戰爭を起すこと能はざらしめ、彼が期待したる如くに歐洲の平和を維持することを得た。

歐州に平和の維持せらるゝとゝもに獨逸の商工業は最斯科學の技術に應用せられたること――その根柢は國民教育にある――國民主義を基礎としたる科學的組織と、政府の保護政策とに依りて隆々として起り、獨逸の商品は漸く世界の市場を蠶食するに至つた。而してビスマークは三國同盟に依りて國境の安固を得たる後、商工業者の希望を容れて殖民政策に着手し忽ちにアフリカに於て廣大な殖民地を作つた。

一八八八年、獨帝テキルヘルム一世は病死し、皇太子フレデリック一世位に卽かれたが、咽喉病の爲めに逝かれ、同年ウキルヘルム二世位に卽かれた。その後二年の後、老宰相ビスマークは辭職した。以後大宰相は置かれたが、最後の決裁は皇

帝自身に在つた。皇帝はビスマークを斥けたと云うてもよいのであるが、帝の外交方針は重なる點に於てビスマークの遺策を踏襲したものであつた。すなはち三國同盟は獨逸外交の中軸として依然存續せられた。新皇帝は此の頃世間より甚しく攻擊せられて居るが、英才有爲の人物であつたことは疑を容れぬ。併し、ビスマークの如き政治家としての大さ、深さ、廣さを缺き、そして練熟と、將來に對する遠慮が足りて居なかつた。これが帝の今日の失敗を招いた所以である。皇帝が位に卽かれた時は、先刻申した樣に、國勢隆々として興つた時であつた。帝は此の機に乘じて、獨逸の文化と政治的及經濟的勢力を世界の各地に及ぼし、單に啻に獨逸國民の勢力を擴張するのみに止らず、これを獨逸皇帝の權力の下に統一せんことを企てた。これは皇帝の野心であつて、また獨逸國民の野心であつた。彼等は之が爲めに、侵略主義に傾き、之が列國の怒を招ぎ、今日の有樣に至らしめたのである。ウイルヘルム二世は彼の野心を達せんが爲めに、獨逸の將來は海にありとなし、大に海軍を擴張し、殖民地を開き、極東に於ても獨逸國民の爲めに將來の根據地を作つた。また獨逸商工業の爲め新らしき市場を開拓することを怠らなかつた。思ふに皇帝の胸中に秘められたる究極の目的は、英國の海上權を打破して、その既に有せる世界的帝國の位置を獨逸に奪はうとしたのであらう。十六世紀の頃、西班牙、當時の世界に於て最も強大の海軍を有し、世界の海上權を掌握して居た、英國は之を打破して今日の地位を得た、獨逸帝は更に英國を打破してこれに代らんと欲する野心を懷いたのである。されど英國の海軍力は強大にして基礎固く、到底俄に之に對抗すること難きを以て、帝は之に對して他日の機會を待ちつゝ、先づ帝の世界政策を實現せしむる第一着手として土耳古領內に勢力を扶殖し、遂に波斯灣に於て印度洋に達する間に、獨逸の政治的及經濟

的勢力を伸張せんと企てた。バクダド鐵道は卽ちその表現である。而して獨逸は之が爲めに新たに土耳古と結んだ。

次に墺太利が獨逸と同盟を結んだ理由は何かと云へば、これは全く露西亞に對抗するに方りて、獨逸の後援を得んと欲したるがためである。露と墺とはバルカン半島に於て、どうしても衝突せねばならぬ運命をもつて居たのである。一八六六年の戰役後墺太利は獨逸と分れた。而して獨逸帝國建設せられたる後墺太利は勢力の發展を西に望むことは到底不可能となつた。墺太利にとつて唯一の發展方面は南東のバルカン半島である。然るに巴爾幹半島に發展せんと欲すれば、同じく此方面に南下せんと欲する露西亞との衝突は到底免るゝことを得ない。墺太利は、單獨の力を以てしては、露西亞に對抗することが困難である。此に於てか墺太利は獨逸の援護を求め之と同盟を結ぶに至つた。一八七九年の獨墺同盟條約には露西亞が兩同盟國の對手國であることが明記せられて居る。而して獨逸も墺太利に同盟することは、露西亞を威嚇して漫りに獨逸に向ひて侵略的行動を取ることを能はざらしむる利益がある。獨墺兩國の露西亞に對抗するは、一面より見れば、チユートン民族とスラヴ民族との對抗である。墺太利は領內に幾多のスラヴ民族を包含して居る。墺國政府は彼等に對して多く自治權を與へ居れるも、尙ほ彼等の分離獨立を防ぎて、よく之を統禦せんが爲には、獨逸の後援を得ることが大切である。この點よりしても、墺太利は終始獨逸との同盟を必要としたのである。

露西亞は一八九〇年代迄は、專ら南バルカンに進出せんと企てたが、一八九一年西比利亞鐵道の起工式を擧げたのを手始めとして、發展の方向を專ら極東太平洋に求めた。一九〇四年日露戰役の開始せらるゝに至る迄、露西亞は極東政策に沒頭した。その結果、遂に日本の存立を危うしたるが

爲めに一九〇四—五年の日露戰役は戰はるゝことゝなつた。日本軍は連戰連勝し、露西亞の極東政策は一大打擊を被むりたると共に露西亞國內には革命的騷亂起り、國力疲弊して暫くの間は到底外に力を用ひる能はざることゝなつた。墺太利は此の機會に乘じ一九〇八年時の墺洪國外相エーレンタールは土耳古政府より所謂ミトロヴイツア鐵道の敷設權を得、之に依りて維納よりエーゲ海岸のサロニカ港に至る迄直接に交通し得る鐵道線路をその權下に有することゝなつた。ついで土耳古に革命起るや、また其の機に乘じて、曩に一八七八年の伯林條約に依りて行政權を與へられて居た土耳古領のボスニヤ、ヘルチエゴヴイナの二州を併合して全く之を墺太利の領土に加へた。塞耳維は此二州の住民が塞耳維人と同民族に屬し、豫ねてより之を併合して大塞耳維國を建設せんと欲する意志ありし爲めに、墺太利が此二州を併合したることを見て猛烈に反對し、露西亞も墺太利の巴爾幹半島に於ける勢力の俄に增大したること見てて、同じく憤慨した。されど當時露西亞は極東戰役の失敗と革命亂との爲に蒙むりたる創痍未だ癒えず、したがつて武力を以て之に抗すること能はざりしに反し、獨逸は墺太利に後援を與へ、干戈に訴ふるも辭せざる決心を示したれば塞耳維も遂に之に屈し、墺太利は克くその目的を達することを得た。這回の大戰役は實に此の時に胚胎して居る。

次に土耳古は如何にして獨と同盟を結ぶに至つたかと云ふに、近く一九〇八年に土耳古に革命起つて、古來の君主專制政治は改まりて立憲君主政治となつた。此の革命の目的は單に自由主義、民權擴張を目的として起つたのでなかつた。從來土耳古の政治は君主專制政治であり、したがつて宮廷的官僚政治であつて、壓制を事とし腐敗を極めて居た。領內の基督敎國民は漸次離反し、外國は機に乘じて內政に干涉するも之に抗すること能はず。國威は日に衰退に赴くばかりであつた。是に

於て所謂青年土耳古黨は之を憤慨し、先づは立憲政の弊政を改めて富强の道を講じ、以て浚辱せられたる國權の恢復を圖らんと欲す、弊政改革の爲めには政體を變更して立憲政治と爲すの外なしと考へ、遂に革命を起したのである。故に彼等は愛國的國家主義から革命を企てたのであつた。而して青年土耳古黨のエンベル、バシャを始めその他軍人は、此の目的から獨逸を提携して英の海軍、露の陸軍に對抗し、出來得べくんば英の權威の下にある埃及を回復しやうと企てた。故に土耳古が獨逸を提携したるは、其の武力を信じて、英露の壓迫に對抗すると共に塞耳維、希臘等が領土擴張の野心を制止せんとするにあつた。而して獨逸は革命前よりして土耳古と親善の關係を保つことに努め、漸く利權を獲得し、勢力を扶植して遂にアナトリヤ鐵道及バリタット鐵道の敷設權を得るに至つた。

ブルガリヤが獨逸に味方して戰爭に加はつたのはセルビヤ、ギリシャ、ルーマニヤに對する復讐と領土擴張の野心から出たのである。大戰役の始まる三年前一九一一年にブルガリヤ、セルビヤ、モンテネグロ、ギリジヤの四國は同盟し、土耳古の領地を奪ふ目的を以て所謂バルカン戰役を始めた。然るに戰勝の結果、土耳古より割取した土地を如何に四國に分つかと云ふに至つて彼等の間に紛爭を生じ、ブルガリヤは、セルビヤ、ギリシャ、ルーマニヤ三國の爲めに攻められて遂にドブルジヤ並にマロドニカ方面に於て一旦土耳古より得たる領土を彼等に奪はるゝに至つた。ブルガリヤは常に之を憤慨し就中セルビヤに對して最も敵意を挾んで居た。今やセルビヤが墺獨と戰を始むるに方りて獨逸は有利の條件を以てブルガリヤを誘つたのでブルガリヤはこの機に乘じて領地を擴め、勢力を伸張せんと欲する野心よりして遂に獨逸の誘に應じてこれと行動を俱にするに至つたのである。（以下次號）

雲びら

み空の懷より、襞なす雲の衣より、
葉かげなき森に、見すてられにし畑に、
音もなく、おだやかに、靜かに、降る雪

我等が山なす空想の、ふと、ある聖き姿にあらはるゝごと、
わづらひある心の、眞白き容貌して云ひあらはすごと、
なやめるみ空が、うけにし苦しみを洩らす其の聲。

これこそは、音なき譜もて、靜かに記さるゝ、み空の詩、
これこそは、永くも雲の胸ふかく刻まれて、
望みながりし秘密を、
今し、森に、畑に、さゝやき洩らす、其の聲。

（ロングフェロー）

日本一の幼年

本誌は、三歳から拾歳までの子供の爲め美しい繪と、面白い噺とを、教育的に組み合せた他に比類なき繪雜誌です。殊に毎號教育的な手技附錄を添へます。

本誌は、玩具とお噺しとの興味及び教育的價値を兼ねあはせたるもの、子供には何よりも喜ばれ、何よりもよき友達となる。

定價

壹冊拾二錢　半年郵税共七拾五錢
郵税壹錢　壹年同壹圓四拾四錢

御大典記念畫報
皇族畫報
婦人畫報
少女畫報
日本幼年
發行所　東京京橋鍛冶橋外
振替東京四九〇〇
東京社

フレーベル館の羊歳新製品

◎行進タンク　定價金拾貳圓

歐洲大戰の爲めに現はれたる新武器タンクは昨年末初めて日本に來り靑山練兵場に其の試運轉をなせり見るもの其奇異の觀に驚く

該運動具タンクは其の形を採りて製作せしものにて幼兒は是に乘り努力して體を前後に動搖すれば一回に七八寸を前進す其の樣亦よく實物タンクに彷彿たり運動に兼ねて實物教示材料たるのみならず二臺以上を備へて競爭せしむれば更に一層の妙味を加ふべし

新學期の御準備に

◎出席簿用紙　百枚　一圓二十錢
◎在籍簿用紙　百枚　八十錢
◎保育豫定兼保育日誌　一冊　一圓二十錢
◎通告表　百人分　五圓
◎保育證（金框付各園名入）　百枚　四圓
◎精勤證（同上）　百枚　四圓
◎月謝袋　百枚　一圓五十錢

以上は皆諸先生方の御研究を願ひ最も便利に最も完全に謹製したるものなれば安心して御使用あらんことを希ふ

幼兒教育　第十九卷第二號　大正八年二月一日發行

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）　大正八年一月廿八日納本濟

印刷所　凸版印刷株式會社本所分工場